

栢身協たより

第 30 号

発行日 平成 25 年 1 月 1 日
発行所 栃木県身体障害者団体連絡協議会
宇都宮市若草 1-10-6
とちぎ福祉プラザ 2 階
☎・Fax 028-678-4401
E-mail info@tochi-shinkyō.org



新年のごあいさつ

栃木県身体障害者
団体連絡協議会会長
小川 榮 一

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
毎年のことではありますが、身の引き締まる思いで新年を迎えました。

昭和20年8月6日午前8時15分、原子爆弾の爆風で兵舎に叩きつけられた、あの日から68年目の正月です。九死に一生を得て、授かった命の尊さを胸に秘めながら懸命に生きてきました。爆風による被爆で、5年以上に及ぶ闘病生活を強いられましたが、多くの人々に支えられ社会復帰を果たすことができました。

復帰後は、社会、また、自分を支えてくれた人々への「恩返し」ということを強く意識し、社会貢献に奔走して参りました。

平成17年には、日本身体障害者団体連合会会長に就任し、国の障害者制度改革にも障害者の代表として関わってきました。

平成21年12月、閣内に「障害者制度改革推進本部」が設置され、翌年1月に第1回の推進会議が開催されて以来、精力的に議論されてきました。その成果として平成23年8月、「障害者基本法の一部を改正する法律」いわゆる「改正障害者基本法」が公布・施行されました。

本法の施行に当たっては、国及び地方公共団体に対する次のような役割が附帯決議として提示されました。①視覚・聴覚障害者などに対する意思疎通のための施策②子どもの発達に対して、障害に気付いてから就労に至るまでの一貫した支援体制整備③発達障害児について、その特性や能力に応じた教育環境の整備④障害原因に対する研究開発や障害者の再生医療の機会確保等です。

このように、障害者を取り巻く制度的な環境は徐々に改善されてきていますが、今後は、社会全体の障害に対する正しい理解が更に求められる時代になってくると思います。そして、障害がある人もない人も分けられることなく、共に生きていくことができる共生社会が到来することを切に願っています。

終わりに、2013年が皆様にとってすばらしい1年になることを御祈念申し上げます。



年頭のごあいさつ

栃木県保健福祉部長
中里 勝 夫

あけましておめでとうございます。

小川会長をはじめ、栃木県身体障害者団体連絡協議会の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様には、日頃から本県の障害保健福祉施策の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

国では昨年、小川会長が議長を務められました「障害者制度改革推進会議」や各種部会における提言等を踏まえ、6月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」及び「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達に関する法律（障害者優先調達推進法）」が成立し、10月には「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」が施行されるなど、障害者権利条約の批准に向けた障害者制度改革に大きな進展がありました。

本県では現在、栃木県障害福祉計画第三期計画に基づき、障害者が地域で暮らせる体制づくりを具体的に進めるため、障害者相談支援体制推進事業をはじめとする各種地域生活支援事業を実施しております。

また、これらに加え、前述の各法による障害者の範囲の見直しやサービス拡大への対応、障害者就労支援施設等からの物品・サービスの調達推進、障害者の虐待防止等につきましても、積極的に取り組んでいるところであります。

県といたしましては、引き続き、「新とちぎ元気プラン」や「新とちぎ障害者プラン21」に基づき、県民誰もが互いの個性や人格を尊重し合い、共に支え合う「共生社会」の実現に向けて、貴会をはじめ関係団体の皆様と緊密に連携を図りながら、各種施策を推進して参りたいと考えておりますので、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、貴会のますますの御発展と皆様の御多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

第18回 栃木県民福祉のつどい

平成24年8月30日(木)に、第18回栃木県民福祉のつどいが宇都宮市文化会館大ホールにおいて開催されました。

この福祉のつどいは、県民の福祉に対する認識と理解をより一層深め、ふるさと「とちぎ」におけるノーマライゼーション社会の実現に寄与することを目的に開催されました。

大会は、第1部が式典で、栃木県知事表彰、県社会福祉協議会会長表彰他4団体による会長表彰が行われ、障害者関係では、栃木県知事表彰9名、栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰17名が受賞されました。

第2部では、タレントの荒木由美子さんが、「私の介護～荒木由美子が語る愛と感動の家族物語」と題して講演されました。



栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰受彰者

(敬称略)

☆自立更生者（9名）

藤野三喜男（宇都宮市）	永田 秀夫（足利市）	中田日出夫（栃木市）
笠原伊久子（佐野市）	藤澤 悦子（大田原市）	軽部 定雄（さくら市）
大島 虎（下野市）	斎藤 シヅ（塩谷町）	鈴木 譲（高根沢町）

☆更生援護功労者（8名）

川崎高三郎（足利市）	印南 叙夫（那須塩原市）	金子 ケイ（さくら市）
平野 昭次（那須烏山市）	池田 豊（上三川町）	高橋 俊雄（壬生町）
神長 覚（塩谷町）	齋藤奈美子（那珂川町）	

栃木県障害者文化祭

カルフルとちぎ 2012こころのつどい

平成24年11月2日(金)・3日(土)の両日、とちぎ福祉プラザをメイン会場に「カルフルとちぎ」が開催されました。

天候にも恵まれ、絵画・書・写真の展示、手工芸品・パン・クッキーなどの即売、各種模擬店、合唱・合奏・演劇などの芸能発表、カラオケ大会などが催され、多くの来場者で賑わいました。



総合相談所障害者交流会

出会い・ふれあい・語りあいの広場

平成24年11月25日(日)、とちぎ福祉プラザ特別会議室において「出会い・ふれあい・語りあいの広場」が開催されました。

午前の中で、参加者の自己紹介の後、「お正月とお正月の準備について～古くから伝わる年中行事から先人の生活の知恵を学ぶ」と題して、栃木県立博物館人文課特別研究員の篠崎茂雄先生から御講話をいただきました。



昼食を挟み、午後の部で参加者同士の自由交流が行われ、楽しい一時を過ごしました。

今回は、総合相談所に結婚登録してある男女38名のうち17名が参加されました。

総合相談所は、障害の有る方の様々な相談に応じたり、男女の出会いの場を提供し、健全な結婚へのお手伝いをしています。

結婚相談の登録者を募集しています

- 対象 県内に在住し結婚を希望する20歳から60歳くらいまでの方
費用 無料
その他
・女性の登録者が少ないため、女性の方歓迎
・関東各県での交流会にも参加できます。
・登録は、面談のうえ所定の申込書2枚、写真2枚

結婚相談以外の総合相談も受け付けています。お気軽にご相談ください。相談は無料です。

※相談日時：毎週水・土・日曜日（毎週第1日曜日と年末年始・祝日は休みです）

午前10時～午後3時

TEL・FAX 028-623-6353

栃木県身体障害者総合相談所：栃木県身体障害者団体連絡協議会内

身体障害者総合相談所の現況（平成23年度）

1 月別相談件数

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	合計	
内訳	男	14	11	13	34	20	11	14	12	16	11	7	5	168	226
	女	8	1	6	5	2	2	7	0	5	3	12	7	58	

2 相談内容別件数

相談内容	就職	障害年金	身体障害者手帳	施設入所	法律	介護	住居	結婚	その他	計
件数	9	3	1	0	0	0	2	144	67	226

栃木県障害者社会参加推進センターホームページの紹介 <http://www.tochi-shinkyō.org/>

栃木県身体障害者団体連絡協議会
栃木県障害者社会参加推進センター

センターの業務紹介 | 事業のご案内 | イベント情報 | 各種制度のご案内 | 障害者スポーツ協会

障害者関係団体一覧
県内の障害者団体を調べる事が出来ます。

サイト内検索
検索ワードを入力し、【検索】ボタンをクリックしてください。

お問い合わせ

新着情報

- 2012.10.04 イベント情報を更新しました。
- 2012.08.08 栃木県社会参加活動助成事業(福祉バス代替)の平成24年度実行は終了しました。
- 2012.08.02 バスで行く障害のある方のためのフォーキング参加者募集
- 2012.08.02 第27回 障害者による書道・写真全国コンテストの募集について
- 2012.07.18 栃木県障害者文化祭(カルフルとちぎ2012)こころのつどい

会員以外にも広く参加を呼びかけたい講演会・研修会・旅行等の行事についてお知らせください。ホームページのイベント情報サイトに掲載します。電話・メール等で御連絡ください。



この機関紙は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。